



発行所
〒371-0026
前橋市大手町2-14-6
Tel.027-221-2746
E-mail
mae-cato@pop17.odn.ne.jp
Web
<http://www.maecato.org>

母の胸にいる幼子のように

御前ザビエル神父

2000年以上前に、神でありながら人となってくださった主イエスのご誕生の慶びを申し上げます。生まれたばかりのイエスは、「わたしの魂を、幼子のように、母の胸にいる幼子のようにします。」と詩編131にあるように、神の不思議なわざを思いめぐらした母マリアの胸に安らぎ、その膝の上で、神に対する信頼を学びました。こうして、イエスも、母マリアを通して、また、聖ヨセフのお仕事を手伝いながら、ともにいてくださる神の存在を感じ取り、聖書のことばを心に受け止めました。やはり、昔も今も、子や孫を信仰に導くことは、両親や祖父母の大事な使命です。

全世界のカトリック教会は、主イエス・キリストの降誕祭を迎える年ごとに、恵みとしていただいている信仰を新たにするように勧めています。わたしたちの信仰は、どのようにいただいたのでしょうか。それは、お父さんとお母さんの信仰があって、生まれてまもなく、幼児洗礼を受け、心に信仰を一つの種としていただいている方もいれば、大人になって、自ら洗礼を望み、信仰の恵みをいただいている方もいます。わたしは、生まれてからすぐ幼児洗礼を受けた者として、幼い子どもの心に、どのように信仰が伝えられていくのかを思い巡らせてみました。

信仰が伝えられていくと書きましたが、信仰は物のように人に渡すものではありません。信仰は神からの素晴らしいプレゼ

ントであり、信じているお父さん、お母さんを通していただくものです。両親によって神の愛に導かれている幼い子どもは、とても幸せで、目が輝いています。

その導きは、生まれる前から始まっています。信者であるお母さんが、お腹にいる子どもに、好きな賛美歌を口ずさみ、祈りを聞かせることから始まります。その後、生まれてくれた子どもの心に祈りを芽生えさせるには、一緒に祈ることです。子どもは、両親が大切にしている神の存在に心を開きます。

家で、この世に来てくださったイエスに手を合わせて、「ありがとうございます」、「ごめんなさい」、「お願いします」の祈りができる場を作ります。その祈りのコーナーには、イエスや聖母マリアのイコン、十字架ときれいなるろうそくを置き、お花を飾ります。そこで子どもは、神に親しく話しかけることができます。家の中に、神と出会える場があることで、子どもは、見えない神の神秘に自然に入っていきます。また、一日の流れの中で、朝起きるとき、食事をするとき、夜寝るときなどに短い祈りをするので、子どもは、一日の間に何回か神と語り合っており、神と共に生きることを学びます。

また、両親が、子ども向きの聖書物語を、子どもに静かに読み聞かせることは、子どもにとって大きな喜びです。聖書に登場する人物の信仰、希望、愛、喜び、悲しみなどを通して、子どもの心に信仰が育てられます。



家で神と出会う子どもは、また、愛する両親と一緒に、神の家である教会に喜んで行きたくなるでしょう。典礼の動作やことばが分からなくても、両親を通して、信じる人々の温かい集いの中で、神は、すべての人を大切にしてくださいと、感じ取ることができるようになります。

典礼歴において迎えた新しい年の間に、子どもも、大人も、恵みとしていただいた信仰の素晴らしさに感動することができますように。

侍者を学ぶ集い



11月4日(日)ミサ後に、第1回目となる『侍者について学ぶ』勉強会が行われました。初聖体を受けた子ども8名と、初聖体前の子ども1名、そして高校生リーダーが1名出席し、ザビエル神父様の指導で、入堂からみことばの祭儀までの侍者の一連の動きを学習しました。2019年1月6日(日)に第2回目が行われる予定です。



防災訓練

11月25日(日)ミサ終了直後、防災訓練が行われました。

今回は、地震が発生したとの想定で行われました。約1分間、聖堂の長椅子の間に身を伏せ、手荷物などを頭に掲げて身を守った後、聖堂の正面入り口と香部屋の入り口から、誘導係の指示で信徒会館前に避難、集合しました。誘導係は避難状況を報告、



七五三の祝福

11月11日(日)ミサの中で、3人の子どもたちが七五三の祝福を受けました。

おめでとうございます。



約2分半で避難は完了しました。

続いて、その場で災害通報の方法と、消火器の使用方法について学び、神父様のお話をもって防災訓練を終了しました。

毎年、消防法に基づいた防災訓練を行っていく予定です。次回に向けて、避難方法や教会敷地内の駐車方法の改善による避難空間の確保など、教会委員会で検討を重ねていく方針です。

ご協力ありがとうございました。



待降節黙想会



12月16日(日)待降節黙想会が行われました。黙想指導はクラレチアン宣教会の長崎壮神父様でした。この日のミサは、ザビエル神父様との共同司式で行われました。

ミサの説教で、洗礼者ヨハネと聖母マリアに共通する神本位の生き方、使命を全うする姿勢についてお話いただきました。

ミサ終了後、そのまま聖堂にて第1講話が行われました。聖書におけるマリア様の姿を通して、マリア様の祈りの意識的深化について学んでいきました。何事においても静かに思いを巡らし、心に留め、神の真意を慎重に思慮する姿に、キリスト者の理想を感じました。独りよがりな希望や祈りではなく、あくまで神本位に祈りを捧げ、神の希望を自分のものとしていく大切さを学びました。また、その背景として、マリア様が常日頃、旧約聖書をよく読み、よく学び、培われた知識を総動員して、神様からの呼びかけに真摯に応えるという側面があったのではないかと長崎神父様のご指摘は、とても興味深いものでした。

昼食後の第2講話では、意識的な祈りが私たち信徒一人ひとりにもたらす変化、深化について、これも聖書の記述によるマリア様の姿を通して学んでいきました。

思いがけない受胎告知をはじめ、神からのあらゆる神秘的な出来事があるがままに受け止め、全てを心に留める姿勢が、年月を追うごとに、完全に主イエスの宣教のありようと一体化していくような印象を持ちました。神本位の日々の信仰生活が、ついには神と一体化した意識となって、周囲を照らす光になっていく。そんな雰囲気を福音書や使徒言行録の記述から読み取れたように思いました。

マリア様の意識的な祈りの日々を私たちはどのように実践するのでしょうか。長崎神父様は、ミサの与り方や、祈りにおける沈黙の時間の取り方、またその時の呼吸法についても丁寧にお話いただきました。ミサの一つひとつの流れ

教会学校 クリスマス会

待降節黙想会と同日、信徒会館2階を主な会場に、教会学校の子どもクリスマス会が行われました。

御前ザビエル神父様による子ども達へのゆるしの秘跡が行われました。

また、子ども達が演じる聖劇も披露され、楽しいひと時を過ごしました。これから迎える降誕祭も楽しいものになりますように。



に注意深くあることで、ミサによって私たちは変えられていくと実感できるようになることなどを学びました。丁寧にミサ典礼に参加することで、また、この世の中での私たちも、より丁寧に意識的に社会の人々と豊かな交わりを持つことができるのではないかと考えることができました。

第2講話の後、ザビエル神父様と長崎壮神父様とのゆるしの秘跡をもって黙想会は終了しました。神に感謝。
(上北聖司)



幼 児 洗 礼

12月9日（日）ミサのなかで幼児洗礼式が行われました。
おめでとうございます。



その他の行事と予定

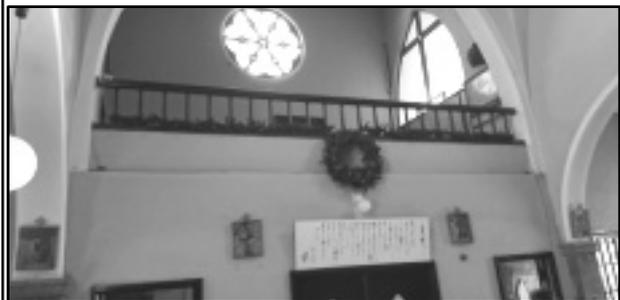
☆11/9（金）カトリック前橋霊園において、ミサが行われました。



☆11/17（土）前橋教会にて、さいたま教区宣教福音化年第2部『信仰を分かちあう集い』。3名の信徒による信仰体験の講話とグループに分かれての分かちあいが行われました。

☆11/24（土）パリ外国宣教会、25名の若手宣教師の研修会。ミサの後、前橋教会信徒3名が各々の「信仰の道」と題して講話をし、質疑応答、分かちあいなどが行われました。

☆11/30（金）～12/2（日）クリスマスの飾り付けが行われました。



☆12/1（土）聖堂にて、オカリナコンサート。

☆12/19（水）11:00～ あかつきの村にて降誕祭のミサとクリスマス会。

☆12/22（土）聖堂にて、前橋教会聖歌隊とプライドエッグによるクリスマスコンサート。

☆☆☆☆☆

※12/23（日）15:00～ フランシスコの町クリスマス会。

※12/24（月）13:00～ イオン高崎にて、前橋教会聖歌隊とプライドエッグによるクリスマスイベント参加。

※12/28（金）～29（土）さいたま教区中高生交流会 場所 カトリック春日部教会

年末年始のミサ

12/24（月）19:00～ 降誕祭 夜半ミサ

ミサ後 持ち寄りパーティー

12/25（火）10:00～ 降誕祭 日中ミサ

ミサ後 ティーパーティー

12/30（日）10:00～ 聖家族

12/31（月）23:30～ 神の母聖マリア

2019年 1/1（火）11:00～ 神の母聖マリア

1月以降の予定

1/13（日）ミサのなかで、新成人の祝福。

1/20（日）教会学校、ボーイスカウト、
ガールスカウト合同餅つき大会

1/27（日）前橋教会信徒 新年会

2/24（日）信徒総会

3/3（日）司教司牧訪問